

# ~TANKYU~

谷地南部小学校  
校内研究だより  
2023. 2. 17  
No.60 文責 伊藤

## 個別最適な学びとは③

GIGA スクール構想に伴って一人一台タブレットが配備され、先生方も毎日より良い教育のために活用されていることと思います。GIGA スクール構想（Global and Innovation Gateway for All 構想）とは、端的に言うところ「児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる構想」です。GIGA スクールと聞くと「タブレット！」と思いがちですが、それは手段であって、目指すところは、「多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育」です。

ポイントは2つ。「誰一人取り残すことのない」と「公正に個別最適化された」です。前者は、何となくわかりそうな気がしますが、後者はどうでしょう？

「公正に」とは、どういうことでしょうか。「平等に」ではありません。私の場合、現代社会で学習した「公正取引委員会」などが思い浮かび、「違反等がないように監視する・正す」というイメージがあります。前号より紹介している本で書いてある捉えを、以下にまとめてみます。

### 平等と公正 アクセシビリティの確保



「誰一人取り残すことのない」	<p>複雑化する社会で、多様な子どもたち全員を取りこぼさず。</p> <p>近年は、発達障害や不登校など従来のやり方に適応できない子ども達が増加の一途をたどってる。その子ども達が、枠にとらわれることなく学べるような環境を整える必要がある。</p>
「公正に個別最適化された」	<p>今の公立学校は、たまたま同じ年に同じ地域に生まれただけで、半ば強制的に同じ教室で学ぶことになっている。得意不得意に関わらず、みんなが同じ時間に同じ教科の学習を同じ時数だけ学習し、同じ評価軸で判定される。</p> <p>しかし、一人一人が真の学びを、必要な方法で、必要な分だけ得られることが、「公正」の精神。</p>

これを実現するために、ICT が一役買うようです。

（「個別最適な学びを実現するICTの使い方」 蓑手章吾著）